

【付録6】 授業実施計画

実施計画（1時間目）

【評価方法】 授業時のワークシート、活動への参加度

【場所】 各クラスの教室

【授業目標】 ・ふろしきの歴史や活用方法を知る

段階	活動内容	・教師の支援
導入 【5分】	<ul style="list-style-type: none"> ・もったいないばあさんのお話がどのような話かクイズ形式で考える（全体） 「現代でもったいないものはどのようなものがあるだろう」 	<ul style="list-style-type: none"> ・もったいないばあさんを知らない児童がいた場合は絵などを見せる ・現代のもったいないからプラスチック袋の有料化の話へ導く
展開	<ul style="list-style-type: none"> ・プラスチック袋が有料化した背景を考える 「昔はどのように物を運んでいたのか」 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>めあて：ふろしきの歴史を知り、体験してみよう</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・イメージが膨らみやすいように画像等を用意する ・プラスチック袋の使用で環境に与える影響についても触れる（児童から出た場合は拾う）
【15分】	<ul style="list-style-type: none"> ・ふろしきがいつの時代からあるのか、どのように使われていたかをクイズで学ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート配布 ・ふろしきの歴史を「奈良時代」「室町時代」「明治時代」に分けてクイズ形式で考えられるようにする。一方的な授業にならないように現代の生活と比較しながら授業を進める
【15分】	<ul style="list-style-type: none"> ・ふろしきの基本となる一つ結び、真結びを体験して感想をワークシートにかく 	<ul style="list-style-type: none"> ・現代にも役立てられるのではないかと児童の意識を引き出せるようにする ・複数回動画を流して、できている児童は反復で練習してもらい、教師はついていけなくなった児童や支援が必要な児童へサポートを行う
まとめ 【5分】	<ul style="list-style-type: none"> ・今回実際に行った結び方を組み合わせで次回の授業で風呂敷を活用してみることに見通しを立てる ・身近なもったいないを探す（HW） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ふろしきでこんなこともできるよと児童に伝えられるような画像なり実践を用意しておく ・時間が余った場合、泥棒＝ふろしきという印象が付いた理由の話をする

- ・一つ結び、真結びを体験し、風呂敷活用へのイメージを膨らませる
- ・環境配慮行動と風呂敷活用が関連していることに気づく

【授業順】

2組→1組→3組

